



43

りへえていぼう 理兵衛堤防

長野県中川村片桐田島

中川村は、長野県の南部に位置し、天竜川が村の中央を屈曲蛇行して南流している。村の周辺には、伊那谷、中央アルプス、南アルプスの好展望地として、春はつつじ、すずらんなどが見事に咲き、夏はキャンプ場としてもにぎわいをみせる陣馬形山がある。〔文化・観光〕陣馬形山、ふるさと自然園、歴史民俗資料館、坂戸峡



中川村の松村理兵衛は、暴れ川（天竜川）を治めるため築堤工事をはじめ、途
中四回の大洪水にあいながらも、工事を
子孫（常邑、忠則）に引き継ぎ、私財を
投じながらもようやく工事を完成させた。
堤防は高さ八メートル、幅四・五メー
トルで、数か所に石積み、枠囲い、聖午
を築いている。特徴は舟や筏、地車を使
い巨石を運び、堤防の表側に積み上げる
とともに、裏側の工堤尻にも大石をおい
て、堤防が洪水で壊されるのを防いでい
るところにある。

理兵衛は没後三〇年後に、天竜功業公明
神という神号を贈られ、堤防の礎石の西
側にまつられている。理兵衛三代の努力
はまさに神様に値するものであり、中川
村の人々は現在もこの功労を忘れる人はい
ない。